

とうけい 統計グラフコンクール作品の作り方 さくひん つか かつ

① テーマを見つけよう

「なぜ？知りたい！」と思うことはないかな？ テーマを決めたら、どんなデータが必要か考えたり、結果を予想したりしてみよう。

② 調べよう

自分で調べる方法(観察・アンケート)と、本やHP等から既にあるデータを集める方法があるよ。
※小学校4年生以下は、自分で調べたデータを使ってね。
※「HP」は、「ホームページ」の略です。

③ 表にまとめよう

数字のデータだけでなく、観察・アンケートでは『調べた期間』や対象(人、もの)とその数』を、本やHPでは『タイトルや提供元、調査名や調査期間』を忘れずに記録しよう。

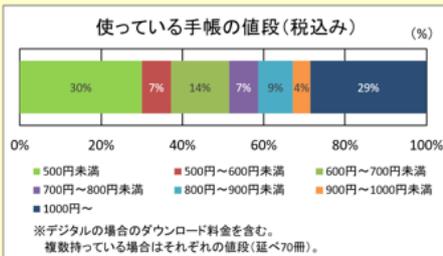
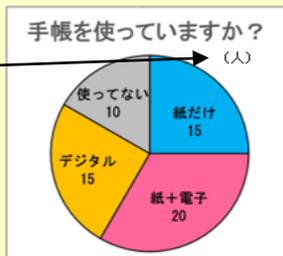
項目	数
調べた期間	15
提供元	20
調査名	15
調査期間	10
その他	60

※表や記録は、作品の基となります。作品と一緒に提出してね。

てちょう かみは 手帳は紙派？デジタル派？

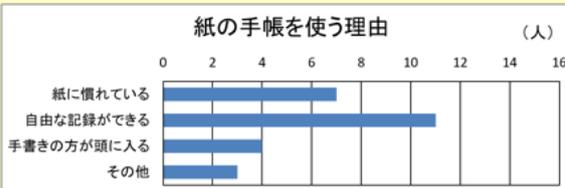
< きっかけ >私の両親はスケジュールの管理に紙の手帳を使っています。でも今は色んなものがデジタルになり、スマートフォンアプリの手帳もあるので、どちらを使っている人が周りが多いのか、どんな理由で使っているのか調べました。

単位を忘れずに



イラストは自分で作ってね

デジタルの手帳には、無料のものもあったよ。1000円以上の手帳を使っている人もいて驚いた!



調べた期間、対象、数

< まとめ >

予想よりも多くの方が紙の手帳を持っていました。デジタルの手帳は荷物にならず、他の人と共有できるという利点がある一方で、紙の手帳には自由に書けるという利点がありました。両方を使い分けている人もいて、手帳以外でも、紙が選ばれる理由・デジタルが選ばれる理由を比べてみたいと思いました。

グラフの基点は0

④ グラフを決めて下書きしよう

データにあったグラフを使おう。マジックでいきなり書かずに、タイトルやグラフの配置を考えて下書きしよう。

結果からわかったことや、予想との比較、もっと調べたくなかったことなどがあれば、最後に書いてみよう。

※コンクールではB2サイズの紙を使うよ。

⑤ 仕上げよう

文字はくっきりと、グラフは定規を使って正しく書こう。色で見せ方の工夫もできるね。最後に間違えがないかチェックしよう。

問い合わせ先：滋賀県統計協会

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号 滋賀県庁新館6階統計課内

TEL 077-528-3393 FAX 077-528-4835

↓滋賀県統計グラフコンクールのHP↓

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/tokei/toukei/concool/304192.html>

